

東洋英和女学院大学大学院

2010年度

後期入学試験問題

人間科学研究科 修士課程

(死生学)

専門分野

## 2010 年度後期大学院修士課程死生学領域試験問題

問題 1. 現代日本社会は急激な社会変化を起こしています。雇用体系が変わり、年功序列・終身雇用制は少なくなり、能力主義・転職社会となってきました。雇用状況も厳しく就職難が続いています。大きな格差社会となり、若者の多くは非正規雇用のため、低収入で家庭を持ちにくくなっています。非婚化が進み、単身所帯が急増し、20 年後は所帯の 40% が単身所帯となることが推測されています。すなわち家庭が無くなっていく事が現実化してきています。かつての絆が薄れ、地縁、血縁、社縁が薄くなり急速に孤独社会・無縁社会化しつつあり、2008 年の無縁死（無縁仏）は 32,000 人に達しました（2010 年 1 月 30 日 NHK スペシャル「無縁社会・無縁死 32000 人の衝撃」）。日本人の死生観も変化し、死の看取り、葬儀のあり方も変化してきています。老人は「おひとりさま」として死を迎える人も増えてきました。現代日本人の死にいたる状況（病院死、施設死、在宅死、孤独死、無縁死など）を 1200 字以内で論じて下さい。

問題2. 次の語句について、Bioethics (生命倫理学) の観点から、各100字程度で解説してください。

- (1) advance directives
- (2) institutional review board
- (3) advocacy
- (4) right to die
- (5) justice